

第1号議案

令和4年度事業報告

1. 協議会活動について

(1) 活動の重点

富山市担い手育成総合支援協議会（以下「市協議会」という。）は、富山県担い手育成総合支援協議会（以下「県協議会」という。）等と連携しながら、意欲ある農業者による農業の継続を促進し、認定農業者（個別経営、法人経営）や集落営農組織を育成するとともに、これら担い手の充実強化と持続的な経営発展を図ってきた。

また、関係機関との連携のもと、集落・地域における人と農地の状況について調査を行うとともに、今後の中心となる経営体の育成・確保、それ以外の農業者を含めた地域農業のあり方を検討するなど「人・農地プラン」の作成推進に努めた。

(2) 担い手育成の数値目標と実績

	実 績		増 減	育成目標 (令和8年度)
	(令和4年度)	(令和3年度)		
認定農業者	359	360	△1	480
うち、法人	135	132	3	101

(備考) 育成目標は、平成29年3月に策定した「富山市農業・農村振興計画」における目標値である。

2. 取り組み内容

(1) 担い手育成総合支援協議会活動

担い手育成に向けた事業計画を作成するとともに、協議会活動や担い手育成に係る各種施策を周知するため、平成29年度作成のホームページ（農業人とやま）の維持管理を行った。

(2) 経営改善・能力向上の推進

農業経営改善計画の作成支援を行うとともに、これら担い手の農業経営が発展するよう、パソコン農業簿記等の研修会を行った。

(3) 担い手の確保・育成

新規担い手の確保や育成を図るため、農業人材力強化総合支援事業（農業次世代人材投資資金、農の雇用事業）、農業経営体法人化等支援事業（農業経営者総合サポート事業）など、担い手に対する支援策の積極的かつ総合的な活用を図り、既存

の経営体が抱える課題に合わせた多様な相談に対応した。

(4) 新規就農者の確保・育成

新規就農者を地域農業の基幹的担い手として安定的に育成確保するため、市内小学校の農業体験への支援を行った。

また、新規就農者からの相談について、富山農林振興センター等の関係機関と一体となって支援策を講じた。

(5) 経営継承の促進

経営継承の促進を図るため、ホームページ（農業人とやま）にて市の支援策等を紹介するページを作成した。

(6) 就農意識の啓発

就農意識の啓発活動として、新規就農者向けのリーフレットの作成や、小学生用の農業副読本を作成した。

(7) 農地の集積・集約化の推進

富山県農地中間管理機構から委託を受け、農地中間管理事業として地域の担い手への農地集積と集約化を行った。

※機構を通じて利用権設定した実績（令和4年4月～令和5年3月分）

契約件数	筆数	貸出者数（実数）	借受者数（実数）	面積（㎡）
283	860	283	52	1,721,614